

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問2 - 4》

## 設問2-4

(ビデオを鑑賞されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

いろんな事に気付いて勉強になった。

2回目です。やっぱり今回も思いを強くさせられるのは「親も修業」というところ。親として、というよりも子どもとともに成長して「親」になっていくものだなあと感じました。

今の時代、やり方次第では人生をエンジョイしながら生活出来ると思いますが人と人とのつながりは今後もっと必要だと思います。

「初心忘るべからず」は時代も関係ないと感じました。

自分が子どもに対して可干渉かもしれないと感じました。見守るところは見守り、子ども自身が自分で気づくように仕向けていける母親にうなづいていけたらいいと感じかされました。

自ら学んで気づくことが一番大切なんだと感じます。大ちゃんが自分で商人になることの難しさを学んだように息子にもいろんな人と出会い皆に揉まれて一人前になってほしいと感じます。

親の我慢、子どもの成長…。子どもを信じて「口は出さず」「見守る心」がなかなか出来ていないと感じました。

自分自身を見つめなおすことが出来た。子どもに選ばせ自分で決めて行動する力を見守らないといけないと感じました。

本当は今回の参加の息子で無く、下の子(弟)が大作そっくりなんです。このセミナーを通してもっともっと自分も学び子どもたちも大きく育てるように学びたいと感じます。「生きる栄養」を学ばせていただいた気がします。

ディスカッションでは皆さん同じ思いのようでした。

私だったらどの場面、どの人の立場でも鍋蓋を買っているかなと思った。その時、一時的な喜びは後の喜びにつながらない。自分の力にならない。涙しながら見ていましたが、親が子を思う気持ちは皆一緒だとう係わるかで子どものためになるかならないか大きく違ってくる。

ビデオでは大作に注意した人に対して親が「よく言ってくれた。」と感謝しているが、実際はこちらが(これはいけない事だ)と思って言った事でも言われたこの親は「何で注意されなければならないのか？」という事もあって価値観が違うとなかなか難しいことだと思った。

もう少し現代的にしてほしい。

映画のようになかなかうまくいかないけれど、これも私たち自身を成長させるための一過として頑張りたいと思った。

時代は違いますが、大きな愛のある子育てをしなければと思わせてもらいました。目先の事だけでなく将来子どもがきちんと自立し「愛のある人生」を歩めるように親は頑張らねば！！

親の毅然とした態度に心を打たれました。日々の生活に追われて一貫性の無い注意をしていました。子どもを信じ、強い気持ちを忘れてはいけないと感じました。

私は3回目の鑑賞でした。幾分古い映画なので最近の生活体系とは少しずれを感じます。ですが、私は好きです。

何度ビデオを見ても同じ所で感動します。時代が違っても親が子を思う気持ちは同じなんだと感じます。

親の責任感、子育ての大切さを感じました。子の鏡になれるよう自分も頑張ろうと感じました。母親をやりたいです。

初めて見ました。子どもを「見守る」事に気づかされたような気がします。

子どもにも見せたかった。

理想的な親の子どもを見守る姿を見た気分です。改めて私自身もこのビデオのような親として接していけるよう努力しなければと感じました。

「子育ては親の修業」というセリフがあったが、真にその通りであると実感した。

鍋蓋が売れている事に気づき感動を受けたとき、お母さんが「ここから始まるのよ」と言った言葉に重みを感じました。100kmで子どもが受けた感動をさらに次の感動、気づきに発展させられるように周囲の感謝、周囲への気遣いなど忘れずに私自身も子どもに言葉がけをしていこうと感じます。

泣きました。

## 設問2-4

(ビデオを鑑賞されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

甘やかすことが愛情では無いということが良く分かりました。子離れ...この旅を通じて私がしなければならぬことだと感じました。もっと自分の子どもを信じよう。

何度見ても感動しますね。勉強になります。

主役の子ども(大ちゃん)がとても現代的な子どもに思えました。家族、親戚や周りの人達はとても厳しかったけれど、その厳しさは日頃のコミュニケーションが密だからできたのではないかと思います。小さなところから(まずは自分から)変わることが大切だと思いました。

前に見たものではありませんでしたが、時が経つとまた違う意味で感動しました。どんな感動も薄れてくるので続けることでまた違う意味も出てくると思いました。

何度見てもたくさんの事を気付かせていただけるビデオです。主人やたくさんの大人に見てほしいです。

私も商売をしている家にお嫁に来て分からないまま月日が流れ、子どもも大きくなりました。改めて今までの甘い生活に反省しております。厳しさも大切なのだとつくづく思いました。

昔人間になりたいです。昔の人の良いところは受け継ぎたいです。御先祖様を見習い、感謝したいです。

子どもとの関わり方が分かりました。

子どもと地域の関わりについて本人(子ども)が変われば周囲(地域)も変わる、周囲が変わればその本人もさらに変わる。この相乗効果は大きいです。

他人の子、自分の子に対してもビデオの親、近所の人達のような対応はなかなか出来ない。

家庭がしっかりしていれば地域の方々の力を借りながら子どもはきちんと育つものだと思います。

家庭の中でしっかりとした教育方針を持っていないといけないなと思いました。

子育ても営業も同じ苦しさや厳しさがあるなと思った。

口を出し過ぎるといけないなと思いつい言いすぎるところがあるの親ももっと我慢しないといけないところがあるなと思った。

理想の形の間人関係でした。確かに昔はあった関係だと思いました。今は残念ながら難しくなりましたが、大切な事をたくさん思い出しました。

親やまわりの人の我慢強さがすごいと思いました。

子どもにも見せてみたいと思いました。

大作が自分で高いの厳しさや人に親切にするとはどういうことか気付くまでにはいろんな人のサポートが必要だと思った。

ビデオのような立派な教育はできませんが、耐えて見守られる親にならないといけないと反省の思いです。

見守ることを大切に、声掛けひとつで子どもは応え成長していく。そして、親も成長が大切だと本当に思いました。

子どもを信じ、見守れる母になりたい。なるように心掛けようと思った。まずは今日から実践。

子どもに対する接し方で厳しく見守ることが大切だと思った。

母親が子どもを見守る、信頼することは母親にとってとても忍耐のいることと感じました。私はつい子どものすることに口を出したり手を出したりとしています。もっと辛抱強く子どもを見守れるようになりたいと思います。

親と子がともに学び力をつけるつもりで見させていたのですが、私自身が日々の生活に甘えがあったと反省しました。

時代は違えけれど子どもを育てていく親の思いはいつの時代も一緒だということを再確認できました。

遠まわしな教育?も必要!

つい口ばかり先に出て「子どものやる気を信じて待つ」「ただ待つ」という事を今日から実践していきたいと思いました。毎日の子どもの成長は目に見えないと思うけれど、経験の積み重ねのうえに感動があって成長につながるんだと思いました。

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問2 - 4》

設問2-4 (ビデオを鑑賞されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
映画が少し出来過ぎた話でしたが、自分が子どもと関わる上で、足りないものが良く分かりました。ディスカッションでは多くの意見を聞いて勉強になりました。
「大ちゃん、今の気持ちを忘れたらあかんよ」の母の一言。
子どもを見守る力を養いたいと感じた。
本当の親の愛情とは何かを考えさせられました。そして、親はもちろん親以外のたくさんの人との関わりあいから子どもは素晴らしい成長をすることが分かりました。
ビデオ鑑賞も3回目ですが、毎回じっくり待つこと、信じてやることの大切さを考えさせられます。...が、なかなか実行できません。残念ながら。
母親が大作を思い祈るシーンで毎回涙が溢れてきます。子どもの辛抱・努力をじっと待つ母親の気持ちを私も見習わないといけないと思います。
大作君はわが子で自分だな！！と思いました。今、だんだんと無くなっている大切なもの(思い)を再確認でき、力まず頑張ろうと思いました。
見るたびに新たな気づきが得られて良かった。
良い時代。少しでも近づければいいですね。
子どもが社会と関わりを持つファーストステップを垣間見たような気がする。自分の周りにこんな人、ご近所さんがいたらいいなあと思う。まず自分がならなければならないと思う。
時代が変わっても変えられないものがある。いえ、変えてはいけない。その言葉を胸に置きこれから自分の課題にしていきたいです。
我が家は学校の先生などから言われるには厳しめに子どもに接しているようです。ただ、ビデオの家族と比べて足りないのは厳しさの奥にある優しさかなあと思います。
感動し勉強させていただきました。見守り方、支え方、本当に難しいです。子どもの将来を見据えて寄り添っていきたいものですが...。親自身が子育ての中で成長させてもらっています。
今、母親が厳しくても逃げ場所が多くあり過ぎる(父親・祖父母)それをどうすべきか悩むところです。
今日のビデオを見てただ反省するばかりでした。今日から私自身が変わらなくてはいけないなと思いました。少しずついいから頑張ってみようと思います。
日頃、子どもにはかなり甘いんだなと思いました。これからはもう少し口を出す時間を置いて見守ろうと思いました。 初めての方とグループになりビデオについて話せ、普通では無い新鮮な感じでした。(良かったです。いろんな方の話が聞けて)
これが欲しいと言えれば買ってやる、子どもには甘やかすばかりの毎日になっているので我慢することも教えない。
見守ることをしていきたい。甘やかして親の思いとおりにしているところがあるように思いのでもう少し生活を考えなおそうと思いました。
何度見ても同じ場面で涙します。本当の優しさとは目の前の事ではない子どもたちの未来のためにと言葉にするのは簡単のように思いますが実行するのは親も頑張らなくては。
上記と同様だが、子どもの成長を促す会話が出来ていなかったと思う。ビデオ内の母の愛の厳しさを学びました。己を律することも大切ですね。
自分の体験を口で教えることはすぐに出来るが、子ども自身が考えて実体験をつまないと本当の力はつかない。つい「早くしなさい」など言うので待つこと、見守ることの大切さを改めて感じました。
自分の子どもや周りの子どもを見守って育てる大切さが分かりました。
大作君の父母、そして周りの方々の子どもに対する接し方を見習わなくてはいけないとつくづく思いました。
物はゆたかでは無い時代だけど人とのつながりがしっかりとしている時代で、今は物は豊にはなっているけれど人と人とのつながりの薄いそんな時代なのかなと思いました。
見る度に思うことですが、遠くからそっと見守る。(木の上に立って見る)親になれるよう努力しようと思います。子どもの成長を期待する前に親の私が成長しなければ...

## 設問2-4

(ビデオを鑑賞されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

自分で気づいて行動するということが大事だと改めて分かりました。

感動したことを「嬉しかった」「楽しかった」「面白かった」など、抽象的にしか言わないので詳細まで表現し他者に伝えられる術を身につけてほしい。

子どもを見守ることは非常に我慢のいること。待っている辛さは大きい。

娘には違う意味で厳しく当たっているなど感じた。優しさの中におせっかいと親の願望が入っているだけで、本当の子どものための優しさとは違う気がした。

子どもの未来を考え、厳しい態度、意見を述べるのは勇気があるけれど大切だと知りました。

現在の状況とは違う。古き良き時代過ぎて。今、人を信じることができず自分を守ることを教えている時代には合わせて考えることが難しい。古き良き時代を振り返り、今がどうかかわれるか？を考えなくてはいけない。

2回目なのにまた感動してしまいました。

グループディスカッションの班分けが縦割りとはよく考えているなど感心しました(仲良しさんは横に並びますからね)